

全国初！「京都式保育人材キャリアパス」の策定について

平成30年1月31日
京都府こども総合対策課
電話075-414-4581

保育ニーズが高まり、保育士が不足する一方で、キャリアに応じた保育士の人材育成や職場定着には課題があります。

京都府では、保育士の標準的なキャリアアップの道筋を示し、やりがいをもって長く働いてもらう仕組みづくりのため、京都保育人材確保・養成対策協議会 キャリアパスワーキング（※）を設置し、検討を行ってきましたが、この度、「京都式保育人材キャリアパス」を全国に先駆けて策定しますので、お知らせします。本キャリアパスにおいては、中堅層の職位として「職務分野別リーダー」や「副主任保育士」などを設定するとともに、職位に応じた役割や責任、求められる能力などを8項目にわたって示しており、今後、府内保育園や認定こども園などにおける共通のキャリアパス制度となることを目指しています。

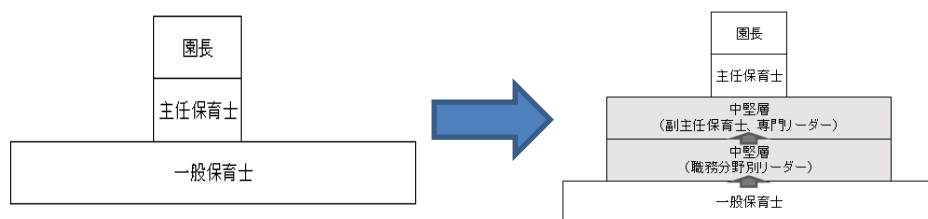
また、昇任やキャリアの証明に役立てていただくため、研修の受講歴を記録・保存する「京都保育人材キャリアパスポート」を作成し、府内の各施設に、順次、配布します。

京都式保育人材キャリアパス

・中堅層として「職務分野別リーダー」や「専門リーダー」、「副主任保育士」などを設定することで、経験年数や能力に応じたきめ細やかなキャリアアップを促進。また、本キャリアパスを導入することで、国が昨年4月に創設した処遇改善の制度により、中堅層に対して月額5千円～4万円の給与増。

・各階層の職に求められるキャリアパスとして8項目を提示。

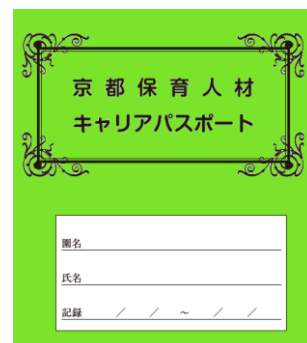
(1「求められる役割と責任」 2「求められる業務」 3「知っておいてほしい専門知識、保育実践に必要な技術」 4「求められる能力」 5「求められる取組姿勢」 6「必要な研修」 7「給与」 8「昇給条件」)



京都保育人材キャリアパスポート

・社会情勢の変化等により、様々な専門性が保育士に求められており、キャリアアップと研修受講による技能習得は密接に関係している。

・研修の受講歴を記録・保存するための冊子を作成し、保育士1人ひとりに配付することで、キャリアアップのためのパスポートとして活用。



(パスポートイメージ)

※キャリアパスワーキング参画団体

京都府保育協会、京都市保育園連盟、全国認定こども園協会京都府支部、京都府保育士会、京都市保育士会、京都保育士養成研究会、京都府、京都市



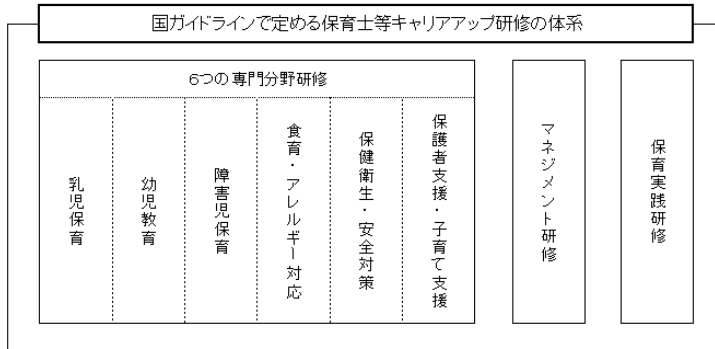
京都市保育人材キャリアパス

階層	職名	1. 求められる役割と責任	2. 求められる業務	3. 知っておいてほしい専門知識 保育実践に必要な技術	4. 求められる能力	5. 求められる取組姿勢	6. 必要な研修	7. 給与	8. 昇級条件 (経験年数、人事課手法等)
1級	園長	<ol style="list-style-type: none"> 1.理事会決議に基づき事業計画を立てる。 2.計画に基づいた園の運営を行う。 3.地域の社会福祉の向上に貢献する。 4.園児の確保、教育・保育の質の向上に努力する。 5.職員を管理を行う。 6.年に1回職員と個人面談を行う。 7.園の運営に関する判断と理事長への報告・連絡・相談を行う。 8.経営レベルと園の運営上のリスクマネジメントを行う。 9.園全体のチームワークを推進する。 10.園を代表して地域及び行政との連携を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.理事会の議決に基づく事業執行及び理事会への事業実績報告 2.園利用者の処遇計画及び運営・管理の統括 3.施設職員の人事管理 4.法人及び園の事務管理(財務を含む)の統括 5.行政、関係機関・団体、保護者、業者との交渉・連絡・調整等 6.園舎・設備・備品等の整備・保守・保安・衛生管理等 7.施設利用者の家庭及び地域福祉相談等(育児相談を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織としての実践の評価 ○全体的な計画の策定・評価 ○社会的擁護等関連領域との協働 ○大規模自然災害時への対応 ○保育士養成校との連携・調整 ○労務管理に関する知識 ○リスクマネジメント ○目標・方針の設定と評価 ○保育の説明責任 ○人事考課 	<ul style="list-style-type: none"> ○理念を語る力 ○社会福祉・教育保育に関する動向・知識 ○経営に関する知識 ○財務に関する知識 ○労務管理に関する知識 ○リーダーシップ ○決断力 ○危機管理能力 ○苦情対応能力 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの最善の利益の尊重 ○人権意識 ○防火管理者研修 ○社会福祉法人会計セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権研修 ○保育関係団体主催園長研修 ○保育関係団体全国大会 ○防火管理者研修 ○社会福祉法人会計セミナー 	<p>(例示) 主任保育士(主幹保育教諭)を○年以上 ○評価で○点以上 ○と面接</p>	
2級	主任保育士 主幹保育教諭	<ol style="list-style-type: none"> 1.保育士・保育教諭を統括し、保育の質の向上、サービスの向上、業務推進の管理、環境整備等の責任を負う。 2.組織として「子どもの最善の利益」が確保できているかどうか、保護者とのパートナーシップによる保育が実践できているか、子育てにおける地域の中核機関としての機能を果たしているかなどを把握し、必要な指導・教育を実施し、人材を育成する。 3.園全体の保育士・保育教諭の責任者として、運営管理、人事管理、組織目標の策定や評価に関わり、目標達成に向けて貢献する。 4.関係機関、地域及び行政との連携責任者として機能する。 5.地域の社会福祉の向上に貢献する。 6.園運営上の苦情解決を行う。 7.園長と連携・協働し、保育の質の維持・向上に努め、適正な園運営の一翼を担う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.園長を補佐し、保育所・認定こども園等全体の職員管理、指導、評価など組織運営に携わる。 2.保育指導計画の評価・指導、自己評価の二次評価を行う。 3.全体像を見つつ、職員に適切にアドバイスをする。 4.園舎・設備・備品等の整備・保守・保安・衛生管理等 5.記録文書(保育要録・児童票等)の確認 6.園行事の準備、開催 7.保護者対応・入園相談 8.発達支援・就学支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的な計画の策定・評価 ○地域子育て支援の事業の創設～評価 ○社会的擁護等関連領域との協働 ○大規模自然災害時への対応 ○保育士養成校との連携・調整 ○リーダーの職員の助言・指導 ○研修計画の策定と評価 ○リスクマネジメント ○目標・方針の設定と評価 ○保育の説明責任 ○人事考課 ○間近の制度・政策の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○理念の理解と実行力 ○財務に関する知識 ○労務管理に関する知識 ○リーダーシップ ○社会福祉・教育保育に関する動向・知識 ○調整力 ○育成力・指導力 ○地域との関係構築力 ○苦情対応能力 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの最善の利益の尊重 ○人権意識 ○一人一人の子どもの発達保障 ○専門職としての責務 ○保護者との協力 ○プライバシーの保護 ○チームワークと自己評価 ○研修への主体的な参加 ○利用者の代弁 ○コスト意識 ○改革・改善意欲 ○保育実践研究への主体的な取組 ○地域志向 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権研修 ○保育関係団体主催園長研修 ○保育関係団体全国大会 ○保育関係団体近畿ブロック研修会 ○防火管理者研修 ○社会福祉法人会計セミナー 	<p>(例示) 副主任保育士(副主任保育教諭・専門リーダー)を○年以上 ○評価で○点以上 ○と面接</p>	
3級	副主任保育士 副主任保育教諭	<ol style="list-style-type: none"> 1.(1)乳児保育・教育、(2)幼児教育・保育、(3)支援を必要とする子どもの保育、(4)食育・アレルギー対応、(5)保健衛生・安全対策、(6)保護者支援・子育て支援のうち3以上の分野において、高度かつ適切な技術を身につけ、さらにマネジメント能力を身につけ、園全体の職員の資質向上及びチームワークの推進に貢献する。 2.初任者の育成及び職務分野別リーダー、専門リーダーへの指導・助言を行う。 3.園全体のリスクマネジメントを行う。 4.制度や社会について理解する。 5.チーム、組織に対して業務改善、システム化など、常に問いかけと働きかけを行う。 6.地域の子育て家庭に対して、適切な助言・支援を行うなど、地域全体に向けた子育て支援に取り組む。 7.関係機関と関わり、必要な調整を行う。 8.養成課程の現状を把握し、実習指導の方法を習得し適切に実習指導を行う。 9.保育実践研究の企画委・立案・指導を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.主任保育士・主幹保育教諭を補佐し、職員の管理、指導、評価など、組織運営を補佐する。 2.地域の子育て支援の取組を担当する。 3.チームによる保育業務を支援・指導する。 <ol style="list-style-type: none"> ①指導計画(保育月案・週案・日案等)の作成指導 ②指導計画を着実に実行するよう助言・指導 ③行事に関する計画の作成指導 ④食育・安全・保健衛生に関する計画の作成指導 4.職員間の勤務調整及び保育士・保育教諭の業務分担の監督・調整等 5.職員の人事管理の補助(勤務割表の再構成・職員打ち合わせ開催を含む) 6.園舎・設備・備品等の整備・保守・保安・衛生管理等 7.記録文書(保育要録・児童票等)の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○科学的・理論的根拠に基づいた保育実践 ○保育ソーシャルワークの展開 ○関係機関・NPO・ボランティア・地域等との関わり ○間近の制度・政策の理解 ○苦情解決 ○対人支援 ○実習生の指導 ○体験学習・インターシップの指導 ○子育て家庭に対する相談・援助の方法と技術 ○専門リーダーへの助言・指導 ○園内研修の企画 	<ul style="list-style-type: none"> ○理念の理解と実行力 ○リーダーシップ ○社会福祉・教育保育に関する動向・知識 ○調整力 ○育成力・指導力 ○チームマネジメント力 ○地域との関係構築力 ○苦情対応能力 ○緊急時対応力 ○企画力 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの最善の利益の尊重 ○人権意識 ○一人一人の子どもの発達保障 ○専門職としての責務 ○保護者との協力 ○プライバシーの保護 ○チームワークと自己評価 ○研修への主体的な参加 ○利用者の代弁 ○コスト意識 ○改革・改善意欲 ○保育実践研究への主体的な取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権研修 ○キャリアアップ研修で定める(1)乳児保育・教育、(2)幼児教育・保育、(3)支援を必要とする子どもの保育、(4)食育・アレルギー対応、(5)保健衛生・安全対策、(6)保護者支援・子育て支援、(7)マネジメント、(8)保育実践 	<p>(例示) 職務分野別リーダーを○年以上 ○評価で○点以上 ○と面接 ○キャリアアップ研修で定める(1)～(6)、(8)の7分野のうち3分野+(7)の研修の合計4分野について、それぞれ15時間以上受講</p>	
	専門リーダー	<ol style="list-style-type: none"> 1.(1)乳児保育・教育、(2)幼児教育・保育、(3)支援を必要とする子どもの保育、(4)食育・アレルギー対応、(5)保健衛生・安全対策、(6)保護者支援・子育て支援のうち4以上の分野において、高度かつ適切な技術を身につけ、教育指導者として指導・育成等の役割を果たす。 2.歳児別チームや各クラスのリーダー(取りまとめ役)としてチーム員を率先する。 3.チーム員同士の「気づき」や「情報」を共有し、保育研究をリードしたり、学んできた専門知識と経験に基づき、保育の実践を深め、展開し、発信する。 4.他職種と共通の認識に立ち、保育の目標設定、実施、評価などを行う。 5.チーム員に対し、日々の業務における適宜・適切な指導・助言を行う。 6.副主任をサポートし、クラス等のチームの業務改善や目標が達成されるように促す。 7.地域の子育て家庭に対して、適切な助言・支援を行うなど、地域全体に向けた子育て支援に取り組む。 8.日々の業務遂行上の判断と、上位職への報告・連絡・相談を行う。 9.歳児別の教育・保育の日常業務における、リスクマネジメントを行う。 10.複数歳児を超えてのチームワークを推進する。 11.歳児別の苦情解決を行う。 12.日常業務にかかわる地域との連携を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.(1)乳児保育・教育、(2)幼児教育・保育、(3)支援を必要とする子どもの保育、(4)食育・アレルギー対応、(5)保健衛生・安全対策、(6)保護者支援・子育て支援のうち4以上の分野において、高度かつ適切な技術を身につけ、教育指導者として指導・育成等の役割を果たす。 2.歳児別の教育・保育計画を立案する。 3.指導計画(保育月案・週案・日案等)の作成指導 4.クラス・歳児別の計画を理解して、柔軟に教育・保育を実践し、評価・反省する。 5.歳児別チームの運営の統制及び職務分担の調整 6.職務分野別リーダー・新任者への指導と助言を行う。 7.避難訓練実施計画の立案及び実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○専門分野について他の保育士等に適切な助言及び指導ができる実践的な能力。 ○保育ソーシャルワークの展開 ○関係機関・地域等との関わり ○間近の制度・政策の理解 ○苦情解決 ○対人支援 ○実習生の指導 ○体験学習・インターシップの指導 ○保護者に対する相談・援助の方法と技術 	<ul style="list-style-type: none"> ○理念の理解 ○専門分野についての最新の知識・技術 ○コミュニケーション力 ○企画力 ○論理的思考・説明能力 ○課題発見力 ○育成力・指導力 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの最善の利益の尊重 ○人権意識 ○一人一人の子どもの発達保障 ○専門職としての責務 ○保護者との協力 ○プライバシーの保護 ○チームワークと自己評価 ○研修への主体的な参加 ○利用者の代弁 ○コスト意識 ○改革・改善意欲 ○資質向上への主体的な取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権研修 ○キャリアアップ研修で定める(1)乳児保育・教育、(2)幼児教育・保育、(3)支援を必要とする子どもの保育、(4)食育・アレルギー対応、(5)保健衛生・安全対策、(6)保護者支援・子育て支援 	<p>(例示) 職務分野別リーダーを○年以上 ○評価で○点以上 ○と面接 ○キャリアアップ研修で定める(1)～(8)の8分野のうち4分野の研修について、それぞれ15時間以上受講</p>	
4級	職務分野別リーダー	<ol style="list-style-type: none"> 1.(1)乳児保育・教育、(2)幼児教育・保育、(3)支援を必要とする子どもの保育、(4)食育・アレルギー対応、(5)保健衛生・安全対策、(6)保護者支援・子育て支援のうちいずれかの分野において、高度かつ適切な技術を身につけ、他の保育士・保育教諭に対してモデルとしての役割を担うとともに、支援を行う。 2.適切な判断・対人理解に基づく、安心・安全な保育を実践する。 3.自らの保育を客観視、言語化し、保育の在り方、内容を向上させるために、同僚や上司と確認や議論を行う。 3.保健・医療を初めとする関連領域について、一定の知識をもち、他職種と適切に連携する。 4.業務改善・組織の活性化に貢献する。 5.自己の能力を理解し、資質向上を図る。 6.初任者の手本となる行動を示し、日常的業務について助言する。 7.家庭から子どもに関する日々の情報を収集するとともに、日々の保育内容等を保護者に的確に伝える。 8.保護者の話を聴き、適切な対応を行う。 9.保育実践を保護者や地域に見やすく、わかりやすく、発信する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.(1)乳児保育・教育、(2)幼児教育・保育、(3)支援を必要とする子どもの保育、(4)食育・アレルギー対応、(5)保健衛生・安全対策、(6)保護者支援・子育て支援のうちいずれかの分野において、高度かつ適切な技術を身につけ、他の保育士・保育教諭からの相談に対し具体的な助言・指導を行う。 2.下記のクラス運営に関する共通事項を専門リーダーの指導・助言を元に行う。 <ol style="list-style-type: none"> ①クラス担当(クラス備品等の管理を含む) ②指導計画・個別計画の作成に関する事項 ③食事に関する事項 ④その他保育上の必要な事項(児童票・保育日誌等の記入) ⑤園児の安全に関する事項 ⑥保護者に対する相談援助 ⑦園児の保健衛生に関する事項(医薬品類の点検・保管を含む) ⑧園舎内外の清掃・美化に関する事項 ⑨備品の点検・整理・保管に関する事項 3. クラスの計画を理解して、教育・保育実践を行い、評価・反省する。 4.日々の業務遂行上の判断と、上司への報告・連絡・相談を行う。 5.初任者と日々の業務を共有し、指導・助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1つの分野について他の保育士等に適切な助言及び指導ができる実践的な能力。 ○PDCAサイクルに基づいて保育を実践する能力。 ○カリキュラムマネジメント力 ○保育を可視化し、発信する(ドキュメンテーション等)能力。 ○虐待ケースへの対応力 ○子どもの気持ちを理解し、保護者に子どもの事を伝えながら、支援する力 ○記録と評価の方法と理解 ○職務に関連する法令の基礎知識 ○関係法令の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○理念の理解 ○1つの分野についての最新の知識・技術 ○コミュニケーション力 ○文章力 ○緊急時対応力 ○指導力 ○説明能力 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの最善の利益の尊重 ○人権意識 ○一人一人の子どもの発達保障 ○専門職としての責務 ○保護者との協力 ○プライバシーの保護 ○チームワークと自己評価 ○研修への主体的な参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権研修 ○キャリアアップ研修で定める(1)乳児保育・教育、(2)幼児教育・保育、(3)支援を必要とする子どもの保育、(4)食育・アレルギー対応、(5)保健衛生・安全対策、(6)保護者支援・子育て支援 	<p>(例示) 初任者を○年以上 ○評価で○点以上 ○と面接 ○キャリアアップ研修で定める(1)～(6)の6分野のうち1分野の研修について、15時間以上受講</p>	
5級	一般・初任者	<ol style="list-style-type: none"> 1.「子どもの最善の利益の尊重」の理念を理解し、基礎的な保育実践を行う。 2.チームによる自分の役割を理解し、助言を受けながら日常業務を実施する。 3.安心・安全な保育を意識して日々の教育・保育を実践する。 4.家庭から子どもに関する日々の情報を収集するとともに、日々の保育内容等を保護者に的確に伝える。 5.日々の業務遂行上の判断と、上司への報告・連絡・相談をきめ細かく行う。 6.保育者自身が自己の能力を発揮し、自己実現をする。 7.チームワークの推進に貢献する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.下記のクラス運営に関する共通事項を職務分野別リーダーからの指導・助言を元に行う。 <ol style="list-style-type: none"> ①クラス担当(クラス備品等の管理を含む) ②指導計画・個別計画の作成に関する事項 ③食事に関する事項 ④その他保育上の必要な事項(児童票・保育日誌等の記入) ⑤園児の安全に関する事項 ⑥保護者に対する相談援助 ⑦園児の保健衛生に関する事項(医薬品類の点検・保管を含む) ⑧園舎内外の清掃・美化に関する事項 ⑨備品の点検・整理・保管に関する事項 2. 日常の保育業務・チームによる園内業務の経験を積む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会人・組織の一員としての基礎 ○子どもの発達・健康の理解と援助 ○全体的な計画に基づいた保育実践 ○記録のとおり方・生かし方 ○応急手当・緊急時の対応 ○子どもの気持ちに寄り添う関わり方 ○園児における環境構成 ○不審者への対応 ○一人一人の子どもの置かれている状態及び家庭、地域社会における生活実態の把握 ○基本的な相談援助の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○理念の理解 ○社会人としてのマナー ○職務規程、職場のルールの理解 ○組織における役割や連携の理解 ○コミュニケーション力 ○接遇能力 ○パソコンスキル 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの最善の利益の尊重 ○人権意識 ○主体的な学びの姿勢 ○素直さ・謙虚さ ○プライバシーの保護 ○チームワークと自己評価 ○専門職としての責務 ○子ども共に遊びこみ、疑問に思ったことについて探求しようとする気持ち ○共感性 ○柔軟性 ○情熱 ○責任感 ○協調性 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権研修 ○社会人・組織の一員としての基礎 ○キャリアアップ研修で定める(1)乳児保育・教育、(2)幼児教育・保育、(8)保育実践のいずれかを(1)・(2)については担任した分野を受講することが望ましい) 	<p>(例示) 基本給与</p>	

別添2（京都保育人材キャリアパスポートについて）

○背景

- ・社会情勢の変化等により様々な専門性が保育士に求められている中、国では、昨年4月に保育士のキャリアアップのための研修を体系化。
- ・今後、各保育士がこれらの研修の受講を通じてキャリアを積み重ねていくこととなりますが、一方で、保育士個人個人の研修履歴を継続的に記録・管理する仕組みがないという課題。



○冊子の内容

- ・本冊子は、キャリアアップに必要な研修の体系を掲載するとともに、自らの研修の受講記録を、記録・保存することにより、保育士の生涯を通じたキャリアの蓄積・証明となります。

京都式キャリアアップ研修内容			
1 人 権	わらわい	内容	具体的な内容
人 権	自らの人権感覚を高め、人権を大切にすることを推進する。	①保育における人権	①子どもの最善の利益の尊重、一人一人の子どもの発達段階 ②人権が守られる環境づくり
2 社会人：組織の一員としての基礎	社会人、組織の一員としての基礎	①社会人としての基礎	②社会人としてのマナー、倫理観、コミュニケーション力 ③意欲、情熱、主体性、責任感、協調性、自覚心、やりきる力
3 保育実践に必要な専門知識・技術	(1) 乳児保育・教育 保育士(1)歳1歳以上0歳未満児に対する保育実践の専門知識・技術	①乳児保育・教育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた保育を行う力を養い、他の保育士等に乳児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。	①発達とそのメカニズム ②発達と環境との関係 ③乳児保育・教育の役割と機能 ④乳児保育・教育の現状と課題 ⑤乳児保育・教育における安全を確保 ⑥乳児保育・教育における関々の発達を促す生活と遊びの環境 ⑦他職種との協働 ⑧保育者の適切な関わり ⑨乳児保育・教育における生活習慣の援助や関わり ⑩保育所保育計画、給保連携型認定こども園保育計画について ⑪乳児保育・教育の指導計画、記録及び評価
			①発達とそのメカニズム ②発達と環境との関係 ③乳児保育・教育の役割と機能 ④乳児保育・教育の現状と課題 ⑤乳児保育・教育における安全を確保 ⑥乳児保育・教育における関々の発達を促す生活と遊びの環境 ⑦他職種との協働 ⑧保育者の適切な関わり ⑨乳児保育・教育における生活習慣の援助や関わり ⑩保育所保育計画、給保連携型認定こども園保育計画について ⑪乳児保育・教育の指導計画、記録及び評価

3 保育実践に必要な専門知識・技術			
分類	わらわい	内容	具体的な内容
(2) 幼児教育・保育 保育士(2)歳以上0歳未満児に対する保育実践の専門知識・技術	①幼児教育・保育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた幼児教育・保育を行う力を養い、他の保育士等に幼児教育・保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。	①幼児教育・保育の基礎	①発達とそのメカニズム ②幼児教育・保育の役割と機能 ③幼児教育・保育の現状と課題 ④幼児教育・保育における安全を確保 ⑤幼児教育・保育における関々の発達を促す生活と遊びの環境 ⑥他職種との協働 ⑦保育者の適切な関わり ⑧幼児教育・保育における生活習慣の援助や関わり ⑨保育所保育計画、給保連携型認定こども園保育計画について ⑩幼児教育・保育の指導計画、記録及び評価
		②発達に応じた保育内容	①発達とそのメカニズム ②発達と環境との関係 ③幼児教育・保育の役割と機能 ④幼児教育・保育の現状と課題 ⑤幼児教育・保育における安全を確保 ⑥幼児教育・保育における関々の発達を促す生活と遊びの環境 ⑦他職種との協働 ⑧保育者の適切な関わり ⑨幼児教育・保育における生活習慣の援助や関わり ⑩保育所保育計画、給保連携型認定こども園保育計画について ⑪幼児教育・保育の指導計画、記録及び評価
			①発達とそのメカニズム ②発達と環境との関係 ③幼児教育・保育の役割と機能 ④幼児教育・保育の現状と課題 ⑤幼児教育・保育における安全を確保 ⑥幼児教育・保育における関々の発達を促す生活と遊びの環境 ⑦他職種との協働 ⑧保育者の適切な関わり ⑨幼児教育・保育における生活習慣の援助や関わり ⑩保育所保育計画、給保連携型認定こども園保育計画について ⑪幼児教育・保育の指導計画、記録及び評価

3 保育実践に必要な専門知識・技術			
(1) 乳児保育・教育			
分類	わらわい	内容	具体的な内容
(1) 乳児保育・教育 保育士(1)歳1歳以上0歳未満児に対する保育実践の専門知識・技術	①乳児保育・教育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた保育を行う力を養い、他の保育士等に乳児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。	H30.1.22	2時間 〇〇大学 教授 〇〇 〇〇氏
		H30.2.1	1時間 〇〇大学 教授 〇〇 〇〇氏
(2) 幼児教育・保育 保育士(2)歳以上0歳未満児に対する保育実践の専門知識・技術	②発達に応じた保育内容	H30.1.5	1時間 〇〇大学 教授 〇〇 〇〇氏
		H30.3.4	2時間 〇〇大学 教授 〇〇 〇〇氏

研修 花子			
テーマ	主 催	受講済	
一人一人の個性を育む乳児保育	京都府保育協会	<input type="checkbox"/>	
乳児保育の心構え	〇〇大学	<input type="checkbox"/>	
乳児にとって必要な環境とは	〇〇協会	<input type="checkbox"/>	
こどもの心を育む園づくり	〇〇大学	<input type="checkbox"/>	